

# 乳酸菌発酵水——化粧品のベースを “発酵の力”でアップデート

WEBサイトは  
こちら



オリザ油株式会社  
化粧品開発部 星野 紗来氏

## 1. 原料の開発ストーリー

オリザ油化が展開する「桜シリーズ」の第三弾となる「乳酸菌発酵水」は、日本のしだれ桜の花びらから単離された「さくら乳酸菌® (Lacticaseibacillus paracasei shidare株)」を用いて発酵させた高機能美容水です。本原料は、「日本の美」や「和」、「春」といった情緒的価値と、水を超える保湿力やバリア機能改善 (図1) という機能的価値を備えています。化粧品のベースとなる「水」そのものに付加価値を与えるというコンセプトで開発しました。モイスチャーミスト、ローション、クリーム、シャンプー、コンディショナー、ヘアミストなど幅広い剤型にご使用いただけます。スキンケアでは、花粉による肌荒れ、秋冬の乾燥、真夏のほてりを潤す商品に、ヘアケアでは、髪内部の水分バランスが崩れることで起こる髪の広がりやパサつき、うねりを抑える (図2)、「うるおい設計」の選択肢としてご提案いただけます。

本開発の背景には、化粧品業界が長年抱えてきた「全成分表示」に関する課題があります。化粧品の多くは70~90%以上が水で構成されており、配合量の多い順に記載される成分表示では、ほとんどの場合「水」が最初に記載されます。そのため消費者は、「化粧品はほぼ水でできているのではないか」という印象を抱きがちです。

近年、成分への関心が高まり、SNSやウェブサイトで情報収集を行う消費者が増える中、この傾向はさらに強まっています。結果として、メーカーが多大な研究開発投資を行い、独自技術や貴重な美容成分を配合していても、その価値が十分に伝わりにくいという現実がありました。

また、化粧品市場では、ブランドストーリーや製品コンセプトが購買意欲に大きく影響します。「日本の伝統美容」「発酵の力」「植物の恵み」といった世界観を訴求する製品において、成分表示の冒頭が「水」であることは、物語性や個性を表現する上で大きな制約となっていました。メーカーからは、「水という無機質な表示ではなく、情緒的価値と機能的価値を併せ持つ原料で製品の個性を表現したい」という声が多く寄せられていました。

そこでオリザ油化は、化粧品のベースとなる「水」そのものに付加価値を与えるという設計思想のもと、匂いや色、機能性に至るまで徹底的に検討を重ね、4年以上もの歳月をかけ、100回以上の試行錯誤の末、ついに完成したのが、化粧品のベースを“発酵の力”でアップデートする「乳酸菌発酵水」です。2026年1月、高機能な美容水として、化粧品の情緒的価値と機能的価値を底上げする新素材を上市しました。この発酵水は、化粧品メーカー様が長年抱えていた「成分表示の最初に意味のある原料を配置し

たい」という願いを実現する、画期的なソリューションです。

## 2. 原料の特長・特性及びエビデンス解説

乳酸菌発酵水の最大のメリットは、水の代替として50%以上配合することで、成分表示の先頭に情緒的価値及び機能的価値のある原料を配置できる点にあります。これに加え、パラベン、フェノキシエタノール、エタノールを一切含まないフリー処方を実現しており、自然由来指数も1 (ISO 16128) で完全に自然由来成分です。

情緒的価値の核となる「さくら乳酸菌®」は、弊社が日本各地の多種多様な桜から採取した100種類以上の乳酸菌を厳密にスクリーニングし、その中から選抜したオリザオリジナル株です。桜は日本を象徴する花であり、「移ろいゆくものを美しいと感じる心」といった独特の情緒的イメージを想起させます。この乳酸菌発酵水を配合することにより、化粧品に深いブランドストーリーと説得力を付与することが可能となります。なお、本菌株は発酵過程でアルコールを産生しないタイプであるため、発酵水自体にアルコールは含まれておらず、アルコールに敏感な方にも安心してお使いいただけます。

機能面においては、優れた物性を有しております。固形分を1.5%以上含有することで表面張力が水よりも低減されており、肌への滴下比較実験では、水の接触角が90°であるのに対し、乳酸菌発酵水は60°と低い値を示しました。この優れた親和性により、肌上で素早く広がり、

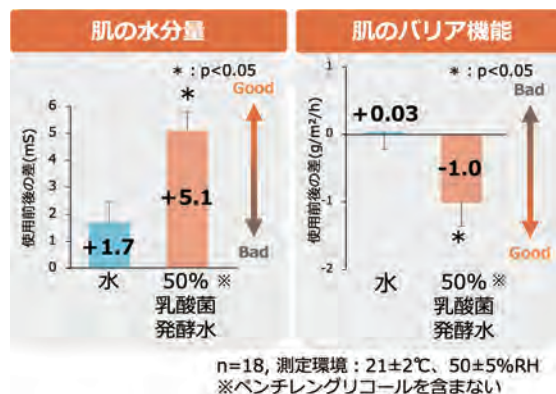
なじみやすくなっています。

さらに、18名を対象としたヒト臨床試験において、50%濃度の乳酸菌発酵水 (ペンチレングリコールを含まない) を用いた評価を実施しました。その結果、肌水分量の改善幅は水と比較して約3倍となる有意な差 ( $p<0.05$ ) を示し、バリア機能の指標であるTEWL (経皮水分蒸散量) においても、水では見られなかった顕著な改善効果 ( $p<0.05$ ) が確認されました (図1)。

これらのエビデンスは、乳酸菌発酵水が肌の潤いを高め、バリア機能を強化することを科学的に証明するものです。このように、情緒的価値と機能的価値を兼ね備えているため、同様の機能を持つ他の原料を削減した「ミニマム処方」にも最適です。ミニマム処方は、肌への刺激やリスクの低減 (成分の数が少ないほど、肌に合わない成分が含まれているリスクが低くなる)、化粧品の透明性の向上 (何が入っているのかわかり、自分の肌に合う成分が判断しやすくなる) といったメリットがあるため、敏感肌やアレルギー肌の方々に好まれています。

## 3. 今後の原料開発の展望

オリザ油化は、乳酸菌発酵水を起点に、他の先端テクノロジーを駆使し、研究開発の可能性をさらに広げてまいります。これからも最終消費者の真のニーズを見据え、価値ある革新的な原料を創出し続けることで、化粧品業界のさらなる発展と未来の美の創造に貢献してまいります。



■ 図1 肌への効果



■ 図2 毛髪への効果

乳酸菌発酵水		Ingredient List
化粧品表示名称	乳酸桿菌発酵液、ペンチレングリコール	
INCI	Lactobacillus Ferment, Pentylene Glycol	
中文名称	乳酸杆菌发酵产物、1,2-戊二醇	
医薬部外品原料規格名称	—	
お問合せ先	オリザ油化株式会社 / TEL: 0586-86-5141 Mail: info@oryza.co.jp	